



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	電気製図 I
教科書	「電気製図入門」 大平典男・岡本裕生 著（実教出版）
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>用意できる場合はコンパスと円のテンプレートを持参すること。            評価方法のレポートは、自学自習で行なった「復習」を簡潔にまとめて提出すること。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>電気技術者として電気図面の内容を理解できるように学んで下さい。</p> <p>生産システム工学教育プログラムの学習・教育目標(C)は、創造力をそなえた技術者をめざすために、「幅広い知識や技術を集約して、新しい「もの」を立案できる能力を身につけること」(立案能力)です。また、JABEE基準1(2)の(C)-①は、「設計・システム、材料・バイオ、社会技術関連の基礎工学を修得し、設計の基本的概念を理解し、説明できること」ですから、このことを理解しながら学習してください。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	授業の進め方 電気図面の役割 電気用図記号	・授業のスケジュールと評価方法を説明できる。 ・業務による図面の役割について説明できる。 ・電気用図記号について説明できる。	(予習) 電気図面の役割について (復習) 電気図面の役割
2	ケーブルの種類と記号	・ケーブルの種類について説明できる。	(予習) ケーブルの種類について (復習) ケーブルの種類
3	ケーブルの作図	・ケーブルの図面を作成できる。	(予習) ケーブルについて
4	ケーブルの作図	・ケーブルの図面を作成できる。	(予習) ケーブルについて
5	屋内配線図と屋内配線用図記号 分電盤の単線図と複線図	・屋内配線用図記号について説明できる。 ・分電盤について説明できる。	(予習)屋内配線用図記号 について (復習) 屋内配線用図記号
6	点滅回路の単線図と複線図	・点滅回路について説明できる。	(予習) 点滅回路について (復習) 点滅回路
7	点滅回路の単線図と複線図の作図	・点滅回路の図面を作成できる。	(予習) 点滅回路
8	<b>試験は実施しない</b>		
9	自家用電気工作物の図面 電力機器と図記号	・自家用電気工作物の図面について説明できる。 ・電力機器の図記号について説明できる。	(予習)電力機器の図記号 について (復習) 電力機器の図記号
10	キュービクル式高圧受電設備について	・自家用電気工作物のひとつであるキュービクル式高圧受電設備について説明できる。	(予習)キュービクル式高 圧受電設備について (復習)キュービクル式高 圧受電設備
11	電気設備の単線結線図の作図	・キュービクル式高圧受電設備の単線接続図を作成できる。	(予習) 単線図について
12	電気設備の単線結線図の作図	・キュービクル式高圧受電設備の単線接続図を作成できる。	(予習) 単線図について
13	電気設備の複線結線図の作図	・キュービクル式高圧受電設備の複線接続図を作成できる。	(予習) 複線図について
14	電気設備の複線結線図の作図	・キュービクル式高圧受電設備の複線接続図を作成できる。	(予習) 複線図について
	<b>試験は実施しない</b>		
15	まとめ 授業改善アンケートの実施	・まとめを通じて重要な箇所を説明できる。	
<b>総 学 習 時 間 数</b>			45 時間
<b>講 義</b>			30 時間
<b>自学自習</b>			15 時間